小学校６年　社会科　調査結果及び考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別			内容別			計
	思考・判断	技能・表現	知識・理解	小学校	地理的分野	歴史的分野	
＋10％ より高い	1	2	1	2	1	1	4
±10％ の範囲内	5	5	5	3	3	9	１５
－10％ より低い	0	0	1	1	0	0	1
計	6	7	7	6	4	１０	２０

（２）　考察

①　全体について

ア　全体の75%の問題が設定通過率の「±10%の範囲内」、全体の20%が「＋10%より高い」で、学習状況はおおむね良好である。

②　成果

ア　過去に出題され通過率が低かった内容については改善が図られている。

イ　歴史的事象の意味や働きの理解については改善が図られている。

③　課題

ア　都道府県名と地図上の位置，工業製品の種類，歴史上の人物の理解に不十分なところが見られる。

イ　複数の資料を比較・関連付けながら思考・判断したり、分かったことや考えたことを自分の言葉で表現したりする力が不十分である。

（３）　今後の指導

ア　様々な工業製品が国民生活を支えていることを具体的に調べることを通して，工業製品とその主な原料についての理解を図る指導。

○ポイント［(3を例として］

①身の回りから工業製品とその主な原料を調べる活動

②思考の過程や操作が見える板書構成やノート指導

③分かったことや考えたことを自分の言葉で表現する活動（説明・論述などの活動）の重視

○具体例

・課題と板書構成の例

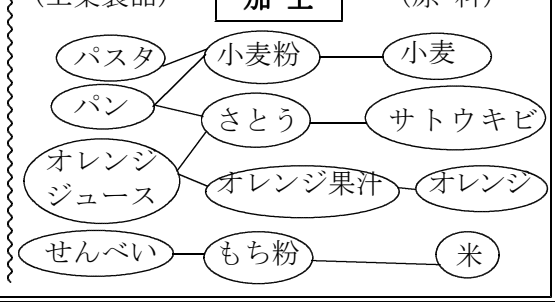
＜課題＞身の回りにある物を工業製品と原料の違いを考えながら分けよう。

■工業の種類と工業製品，主な原料

ア　金属工業
イ　食料品工業
ウ　化学工業
エ　せんい工業

（例）食べるもの＝食料品

（工業製品）← 加 工 ←（原 料）



・児童のまとめの例

身の回りには工業製品がいっぱいあることが分かりました。また、工業製品を種類ごとに分けてその原料について考えていくと工業製品と原料の違いが分かりました。例えば、パンやパスタは工業製品で、それを作るための小麦は原料です。せんべいは工業製品でその原料はお米です。つまり、工場などで原料を加工したものが工業製品です。

・国民生活を支える工業生産の特色を理解するために、身の回りにある工業製品に気付かせ、その主な原料について調べることは重要。

・キーワードを考えながら、調べたことや発言内容をまとめていく。この過程が、調べたこと（見えること）を分類・整理し，社会的事象の共通点を見いだすために重要であり、この過程への児童の参加が欠かせない。また、思考の過程や操作が目で見て分かるように、関連する内容を矢印で結んだり、ウェビングを活用したりするなどの板書構成やノート指導の工夫が必要である。

・単元のまとめを、児童自身に書かせる活動が重要である。その際、最初は書き出しや文末を指定したり、キーワードを示したりする指導が考えられる。また、「例えば」（具体）や「つまり」（抽象）といった語を用いてのまとめ方も工夫できる。その後は、児童の実態に応じて、徐々に自力でまとめさせるようにする。また、工夫されたまとめを取り上げ、モデルとすることも有効である。